

トラスト会員へ地元農産物

山王寺本郷棚田実行委員会

棚田米や餅、野菜など箱詰め

「日本の棚田百選」の一つ「山王寺の棚田」のある雲南市大東町山王寺の「山王寺本郷棚田実行委員会」（高島幹雄会長）が14日、山王寺の棚田保全活動を資金面で支援している「トラスト会員」に、山王寺の旬の農産物を送る箱詰め作業を、地区内の山王寺本郷集会所で行った。

棚田保全の一環で同実行委員会では、水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）の協力を得て、7年前からトラスト会員を1口1万円で募集している。今年度の会員は県内外の24人。

箱詰め作業は3回に分けて実施し、初日のこの日は会員のうち12人への箱詰め作業を行った。委員会メンバー5人が集まり、棚田で栽培された米5キロと古代米1合、餅、ダイコン、ハクサイ、サツマイモ、ピーマン、カキ、ユズなど17種類ほどの農産物を手際よく、日本郵便の「ゆうパック」の箱に詰めていった。

箱には、感謝の気持ちを込めた「お礼」の送り状も添えた。実行委員会事務局の高木健次さんは「農産物を送る（こと）を（連絡すると『待っています』という声を聞きます。楽しみにしておられると思います」と話していた。

農産物の箱詰め作業＝14日、雲南市大東町の山王寺本郷集会所

